

4) 運営状況

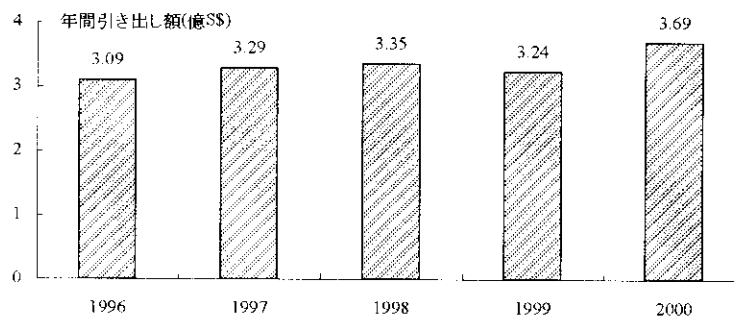
① 加入者数

2000年12月末日のメディセイブの口座数は271万人であり、前年対比1%増となった。

② 引き出し状況

メディセイブの年間引き出し総額は2000年で約3.7億シンガポールドルであるⁱ。一口座あたりの年間引き出し額は8,300シンガポールドルと前年比7%増であったⁱⁱ。

図表50 メディセイブ年間引き出し額

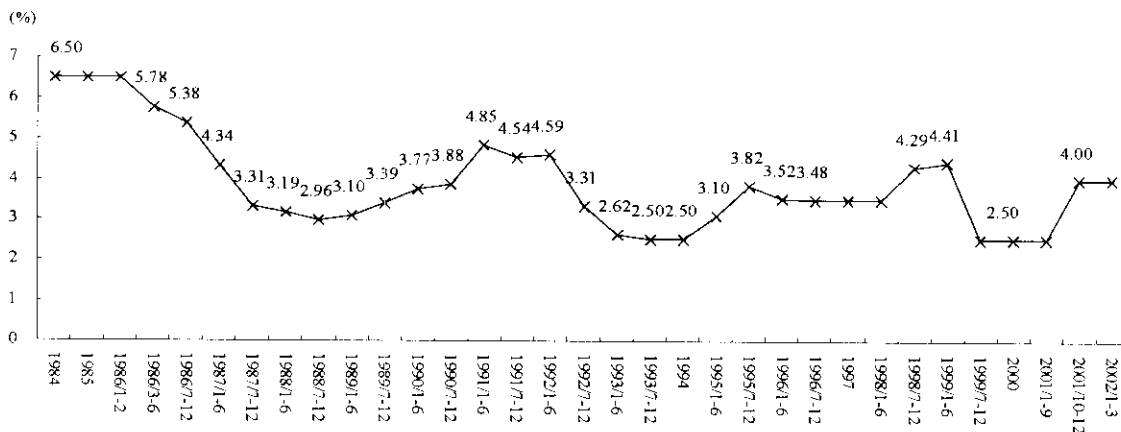


(資料) CPF Annual Report 2000 p21

③ 運用と利率

メディセイブ口座の利率は、中央積立基金の普通口座などと同様に、財務省および Government of Singapore Investment Corporation (GIC) Statutory Board が運用しており、利率は3ヵ月ごとに設定される。2002年1月から3月時点のメディセイブ口座の運用利率は、は4%であるⁱⁱⁱ。

図表51 メディセイブ口座の運用利率の推移



(資料) CPF Annual Report 2000 p21、http://www.cpf.gov.sg/cpf_info/home.asp

ⁱ CPF Annual Report 2000 によると 368.7 百万シンガポールドル。ただし保健省の Annual Report 2001 では 391 百万シンガポールドルとなっている。

ⁱⁱ Ministry of Health Annual Report 2001 p23

ⁱⁱⁱ http://www.cpf.gov.sg/cpf_info/home.asp 2001年10月15日アクセス

④ 事務手続きと IT 化

事務手続きは積立金の入金と医療費の支払の 2 つに大きく分けることができる。入金に際しては雇用者は被用者の給与の 20%相当額を天引きし、雇用者負担分と合わせて明細とともに CPF に支払う。CPF としては管理コストを減らすためにも電子化を奨めているが、中小企業では難しい。一方、医療費の支払いは病院と CPF とがオンライン化されているため、病院から CPF への請求および CPF から病院への入金は電子化されている。

また、加入者向けのサービスとして、残高照会や問い合わせ窓口がある。

ウ) 積立金の入金と明細の送付

事業者は毎月 CPF に積立金を入金する必要があり、従業員 3 人以下の事業者は毎月 10 日、4 人以上の事業者は 14 日までと決められている。

入金の方法には、銀行振替、小切手、現金とがある。小規模事業者で毎月の入金額が一定の事業者は明細書なしで銀行振替 inter-bank GIRO を用いて入金することができる。小切手・現金の場合は明細を添えて CPF 事務所または郵便局で入金できるⁱ。

大手企業で毎月の積立額が異なる事業者は銀行振替システム (system for handling inter-bank funds transfer, 略称 SHIFT) が用いられることが多い。企業は入金締切日までに入金明細を CPF に提出し、企業の口座から CPF 口座への振替を銀行に委託している。

入金の明細は紙ベース、専用回線、インターネットなどの方法がある。紙の場合は CPF 法第 91 条、第 92 条に基づいて明細書と新規被用者の申込書を送付する。専用回線 CPF/IRASⁱⁱ Line を用いる場合は、CPF の明細送付と物品サービス税 GST の申告を同時に行うことができる。インターネットのウェブサイト CPF PAL Internet ではパソコンから簡易に明細を送付することができる。

エ) 医療利用と支払い

病院に行くとコンピュータがあり、自分の ID を打ち込むと残高などが分かる。これに対し、どの口座から支払いたいのか(自分あるいは家族の口座)などの簡単な問いに回答する。退院後に病院からこれにしたがって CPF に請求書が送られて支払われる。すべての病院と CPF とはネットワークでつながっている。病院においている端末は病院が購入している。これを購入しないとメディセイブに参加できないため、患者のニーズに応えるために病院は端末の購入の必要に迫られる。

ⁱ 小切手の場合はすべての CPF 事務所。現金の場合は CPF の主要事業所またはすべての郵便局。

ⁱⁱ Inland Revenue Authority of Singapore

図表52 メディセイブ残高の照会画面

Medisave Scheme <small>メディセイブ</small>	
Statement of Medisave Balance <small>メディセイブ残高の状況</small>	
Medisave A/C/No./ Name: <small>メディセイブ口座番号/氏名</small>	XXXXXXXX/X XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
Medisave Available Balance: <small>メディセイブ有効残高</small>	ZZZZ,ZZ9.99
Total Amount Blocked: <small>封鎖されている金額</small>	ZZZZ,ZZ9.99
Medisave Available Balance for withdrawal: <small>引き出し可能なメディセイブ有効残高</small>	ZZZZ,ZZ9.99
Last Contribution Received for XYY: <small>最終入金</small>	up to S\$100.00
MSH Cover: <small>メディシールド加入の有無</small>	Y/N on 25/02/02
Plan Type: <small>プランのタイプ</small>	Basic
	MSH Cumulative Claimable Amount: S\$400 <small>メディシールド累積請求可能額</small>
	MSH Claim Paid to Date: 0 <small>メディシールド給付金支払</small>
*** End of A/C***	

(資料) CPF 資料

退院後、数週間で請求書が届き、一部がメディセイブから払われ、一部を個人が負担する。償還払いではない。メディセイブの支払いは Medinet と呼ばれるシステムで管理している。その結果は保健省にも報告される。

病院での請求・支払が電子化されているのに対し、診療所ではメディセイブが使えないところが多いため、IT 化も遅れている。一部のメディセイブが使える診療所で、オンライン化されていないところについては、請求・支払いの手間がかかるため CPF が診療所から手数料を徴収している。

オ) 加入者サービス

CPF には本部と 4 か所の事務所があり¹、加入者対応や入金を受付などを行っているほか、電話やインターネットなどでもサービスを提供している。

主なサービスチャネルは電話 CPF PAL-Phone、インターネット CPF PAL-Internet、電子顧客窓口 CPF e-Customer Counter の 3 種類で、これらは残高照会、口座振替、シミュレーション計算など 30 以上のサービスを提供している。電話件数は月間 16 万件、手続きは 40 万件、インターネットのアクセスは 22 万件、手続きは 18 万件に上る。

¹ 本部のほか、Bishan Office、Woodlands Office、Jurong Office、Tampines Office の 4 か所がある
http://www.cpf.gov.sg/cpf_info/Services/Offices.asp

5) メディセイブの利点と欠点

メディセイブによって患者は自分で病院、医師、病床のタイプを自由に選択をすることができ、使わなかった医療費は将来や家族のためにとっておくことができる。

政府としても、メディセイブの利点は3点挙げられる。第一は諸外国の社会保障のように資金を再分配せずに個人に責任を持たせることによって、注意深い医療消費を促し、医療費の節約につなげることができる。同時に、政府の補助は本当に医療費を払うことができない層に焦点をあてて提供されている。第二に、利用した時点で請求されるため、医療の過剰利用を防ぎ、自分で払えるレベルの病床を選択させることができる。第三に、個人が自分自身の将来のために医療費を蓄える仕組みのため、将来の世代に負担が持ち越されることがないことである。諸外国の社会保障が直面している生産年齢人口の減少などの社会のサイクルの影響が小さい。

一方、欠点としては患者が適切な医療を利用できるためには、価格や成果についての情報や評価結果が利用者に明らかにされなければ、サービスを選択することは難しい。またメディセイブのしくみでは長期にわたる深刻な疾患や慢性病患者をカバーするのが難しい。このため、メディシールド(後述)が導入された。

また、メディセイブの貯蓄をあてにして、自分が支払えるレベルよりも上のクラスの病床を選択してしまう患者が多いことも問題視されている。Aクラスの病床に入院してメディセイブで支払った患者の24%は月収がS\$600未満であったという調査結果も報告されている(例えば Tan Tock Seng 病院のAクラス病床はS\$1,500、B1はS\$1,150、B2はS\$490、CはS\$280)。この原因として、メディセイブは通常は利用できない凍結された資産 frozen asset であり、使わないでおくとCPFのものであるかのような誤解をされていることが挙げられる。また、メディセイブの引き出し上限に対してCPF側のチェックが少ないとの指摘もある¹。

¹ Judy Lim “Health care reform in Singapore: The Medisave scheme” Tan Teck Meng & Chew Soon Beng eds. *Affordable Health Care – Issues and prospects* Simon & Schulster (Asia) Pte. Limited., 1997 p281-282

(5) メディシールド

1) 制度の概要

メディシールドは1990年7月にメディセイブの補助としてつくられた。これは賦課方式の保険であり、メディセイブの積み立てだけでは十分にカバーできないような深刻な病気や長期にわたる病気の際の医療を給付対象としている。メディシールドプラスもメディシールドと同様の内容だが、メディシールドがCクラスまたはB2クラスの病室に入院した際の医療費をカバーするのに対し、メディシールドプラスではAクラスまたはB1クラスの病室が対象となり、保険料も給付額も高額の設定である。病床種類別にプランAとプランBとがある。メディシールド、メディシールドプラスとも、保険料をメディセイブ積立から支払う仕組みである¹。

加入は義務ではないが、メディセイブ口座を持っていれば自動的にメディシールドにも加入する仕組みとなっており、特に加入しない旨を申し出なければ加入することになる。メディセイブ口座から保険料を支払うため利用者にとって保険料が経済的負担に感じられるわけではない。このような加入手続きのため、また民間保険よりも保険料が安い²ためメディセイブ加入者の大部分はメディシールドに加入している。

メディセイブは入院医療を中心としているため、外来の人工血液透析などをカバーしていなかった。メディシールドの創設によって外来治療が可能な患者でもメディセイブのために入院を続けるという事態を減らし、外来へのインセンティブともなっている。

2) 加入対象者

加入対象は80歳未満でメディセイブに加入しているシンガポール国民または永住者である。ただしメディシールド、メディシールドプラスプランA、メディシールドプラスプランBのうちいずれか1つにしか加入できない。また、新規加入あるいはプランの変更ができるのは75歳未満のみである。加入は、メディセイブ口座所有者本人だけでなく、配偶者・子・父母・祖父母(ただしシンガポール市民または永住者)についても可能だが、加入は個人単位である。

メディセイブ加入者は自動的にメディシールドに加入するようになっており、加入を希望しないという申請を出した人のみが非加入者となるため、加入対象者の72%がメディシールドまたはメディシールドプラスに加入している²。

毎年自動的に更新されるが、80歳になった時、脱退希望を出した時、生涯給付上限額に達した時、保険料を滞納したとき、市民権・永住権を失った場合には脱退となる。

¹ CPF バンフレット “MediShield, MediShield Plus”

² CPF Annual Report 2000 p22

3) 保険料

cross-subsidy (内部補助金、リスク構造調整のための相互補助金)を最小化させるために年齢階層別に保険料を設定している。30歳未満では年額 S\$12 であるが、74～75歳では S\$240 に上る。

図表53 年齢階層別保険料 (単位:S\$)

Age next birthday	MediShield	MediShield Plus	
		Plan A (Class A)	Plan B (Class B1)
Up to 30	12	60	36
31 to 40	18	90	54
41 to 50	36	180	108
51 to 60	60	300	180
61 to 65	96	480	288
66 to 70	132	660	396

(資料) Ministry of Health *Medisave, Medishield, Medifund, & Others* April 2000¹

4) 給付内容

深刻な病気、長期にわたる病気の際の医療費をカバーするものであり、給付には集中的な医療、外科手術、移植・埋め込み手術などのほか、腎臓病患者の外来透析、がん患者の外来化学療法・放射線療法、移植手術患者のための薬剤、透析患者のための赤血球生成促進因子薬剤も含まれる。

給付申請は病院を通じて CPF に行われる仕組みとなっている。

¹ <http://www.gov.sg/moh/mohiss/hlthfin.html>

図表54 メディシールド・メディシールドプラス 給付上限額

給付 Benefits	メディシールド	メディシールド・プラス	
		プラン B	プラン A
病室と食費 Room & Board*	S\$120 / 日	S\$300 / 日	S\$500 / 日
ICU*	S\$240 / 日	S\$500 / 日	S\$800 / 日
外科手術 Surgical Operations ¹			
表 1	S\$100	S\$300	S\$400
表 2	S\$200	S\$600	S\$800
表 3	S\$400	S\$1,000	S\$1,300
表 4	S\$500	S\$1,500	S\$2,000
表 5	S\$500	S\$2,000	S\$3,000
表 6	S\$600	S\$3,000	S\$4,000
表 7 (詳細は脚注参照)	S\$600	S\$4,500	S\$5,500
移植または認可医療消費 Implants/Approved Medical Consumables	S\$1,500 / 年	S\$2,500 / 年	S\$3,500 / 年
外来治療 Outpatient Treatment			
がんの放射線治療 Radiotherapy for cancer	S\$40 / 治療 1 日	S\$80 / 治療 1 日	S\$100 / 治療 1 日
がんの化学療法 Chemotherapy for cancer	S\$75 / 治療 1 週間	S\$150 / 治療 1 週間	S\$200 / 治療 1 週間
腎臓透析 Renal Dialysis	S\$700 / 月	S\$1,600 / 月	S\$2,000 / 月
腎臓透析のためのエリスロポエチン薬 Erythropoietin drug for Renal dialysis	S\$200 / 月	S\$400 / 月	S\$500 / 月
臓器移植のためのシクロスポリン薬 Cyclosporin drug for organ transplant	S\$200 / 月	S\$400 / 月	S\$500 / 月
請求上限額 Claim Limits			
年度につき per policy year	S\$20,000	S\$50,000	S\$70,000
生涯につき per life-time	S\$80,000	S\$150,000	S\$200,000
定額負担(控除) (年度につき) deductible(per policy year)	S\$1,000 (B2 病室の場合) S\$500 (C 病室の場合)	S\$2,500	S\$4,000
共同負担(定率) Co-Insurance	20%	20%	20%

* 食費、処方箋、ドクター・フィー、調査、その他雑費を含む

Inclusive of meal charges, prescriptions and professional charges, investigations and other miscellaneous charges.

外科手術は複雑さの度合いに応じて表 1 から表 7 までに分類されている

Surgical operations are classified according to their level of complexity, which increases from Table 1 to Table 7.

- 定額控除は定位放射線療法と外来治療には適用されない

Deductibles are not applicable for Stereotactic Radiotherapy Treatment and Outpatient Treatment.

(資料) Ministry of Health Medisave, Medishield, Medifund, & Others April 2000ⁱⁱ

- ⁱ 1 Knee aspiration, endoscopic lung examination
- 2 Removal of piles
- 3 Removal of appendix, Hernia operation, etc
- 4 Removal of gall bladder, Cataract operation
- 5 Breast cancer operation
- 6 Heart artery by-pass operation
- 7 Kidney transplant, correction of crooked spine

ⁱⁱ <http://www.gov.sg/moh/mohiss/hlthfin.html>

5) 運営状況

① 加入者数

メディシールドに加入できる対象者のうち、72%が加入しているⁱ。1999年12月現在の加入者数は202万人のCPFメンバーとその被扶養者がメディシールドとメディシールドプラスに加入しているⁱⁱ。うち約38万5千人がメディシールドプラスの加入者である(2000年12月末日)。

② 運用と保険収支

メディシールドの年間の保険料収入は9490万シンガポールドル、保険金支払は5603万シンガポールドルである。3.9億シンガポールドルの資産のうち、約2.3億シンガポールドルを株式、約1.4億シンガポールドルを債権として運用している。

図表55 メディシールド 保険収支 Insurance Funds

(単位: 1,000シンガポールドル)

		2000年	1999年
収入:			
保険料	Insurance Premiums	94,901	94,647
投資販売収益	Profit on sales investments	6,241	7,936
運用資産収益	Investment income	8,941	8,550
利息及び配当金収入	Interest from bank and other deposits	5,519	5,865
裏書された投資の評価切り下げ	Diminution in value of investments written back	-	3,659
為替差益	Foreign exchange gain	-	-
その他収入	Miscellaneous revenue	-	-
		115,602	120,657
支出:			
	Less:		
支払保険金	Claims	56,032	46,878
解約返戻金	Surrenders	-	-
為替差損	Foreign exchange loss	3,843	296
代理店手数料等	Agency fees and professional charges	4,188	2,746
投資価値の評価切り下げ	Diminution in value of investments	2,039	-
その他損失	Other expenses	9	8
		66,111	49,928
基金の純増加	Net increase in fund	49,491	70,729
1月1日現在残高	Balance as at 1 January	416,246	345,517
12月31日現在残高	Balance as at 31 December	465,737	416,246

ⁱ CPF Annual Report 2000 p22

ⁱⁱ CPF Annual Report 2000では202万人となっているが保健省のAnnual Report 2001では190万人とある。(2000年12月末日現在)

(続き)

流動資産	CURRENT ASSETS		
投資勘定	Investments	384,035	194,037
その他債務	Sundry debtors	5,057	3,366
未払利息	Accrued interest	4,084	4,533
銀行預金・預け金	Bank and other deposits	103,778	212,830
現預金	Cash and bank balances	580	2,266
		<u>497,534</u>	<u>417,032</u>
流動負債	CURRENT LIABILITIES		
未払い保険金	Claims intimated or admitted but not paid	505	372
雑債権者	Sundry creditors	31,292	414
		<u>31,797</u>	<u>786</u>
純流動負債	Net current assets	465,737	416,246
純資産合計	Total net assets	<u>465,737</u>	<u>416,246</u>

(資料) CPF Annual Report pp54-55

図表56 保険基金資産 Insurance Fund Assets

(単位: 1,000シンガポールドル)

原価	Cost		
債券	Quoted Bonds	138,053	118,080
株式	Quoted equities	226,555	70,976
其他有価証券	Other marketable securities	21,466	
譲渡性預金	Negotiable certificates of deposit	-	4,981
		<u>386,074</u>	<u>194,037</u>
	Less:		
投資価値の評価切下げ見通し	Provision for diminution in value of investments	2,039	-
		<u>384,035</u>	<u>194,037</u>

(資料) CPF Annual Report pp54-55

6) 民間保険との関係

メディシールドおよびメディシールドプラスは公的に運用されているが、これと同様の商品が民間保険会社からも販売されており PMISⁱと呼ばれる。メディシールド・メディシールドプラスと同様にメディセイブの預金から保険料を支払うことができる。ただしメディシールド・メディシールドプラスの加入者が 190 万人であるのに対し、PMIS の加入者は 40 万人にとどまるⁱⁱ。またメディセイブ口座から保険料を支払うことのできる医療保険は 1 つまでと決められているため、民間の PMIS の加入とともにメディシールド／メディシールドプラスは解約となる。

現在は NTUC Income による NTUC Incomeshield と AIA による AIA HealthShield の 2 商品がある。いずれもメディシールドやメディシールドプラスと同様に病床の種類により何種類かのプランがある。メディセイブから保険料を引き出すことのできる医療保険としての認可を受けるために満たさなくてはならない条件により、カバー内容もメディシールド・メディシールドプラスに類似している。

メディセイブ加入者は自動的にメディシールドに加入する仕組みになっており、メディシールドプラスや NTUC Income または AIA の類似商品に加入するためには手続きを必要とするため、メディシールドが市場シェアの圧倒的多数を握っている。

① NTUC Incomeshield

全国労働組合会議(NTUC)傘下の保険会社である NTUC Income は、一般保険分野 general insurance でシンガポールで第一位(シェア 13.6%)、生命保険分野では第二位(シェア 19.6%)のシェアを握っている(2001 年度)ⁱⁱⁱ。

投資商品、損害保険、生命保険などあらゆる分野の商品を取り扱っているが、医療保険分野では、保険の自己負担をカバーする保険やマネジドケアプランと並んで、入院をカバーする NTUC Incomeshield を 1994 年 7 月から販売している。NTUC Incomeshield は主に自営業者や雇用主によって医療保険に加入していない人を対象として設計された。発売当初から商品の内容は変わってきているが、当時メディシールドプラスが 70 歳までしか対象としていなかったのに対し、NTUC Incomeshield は 75 歳までを対象としていた。NTUC Incomeshield の保険料はメディシールドプラスと比較して 36%割高な保険料だが、給付範囲は 50~60%多い^{iv}。

現在は病床の種類に応じてプラン A、B、C の 3 種類がある。

② AIA Healthshield

AIA は一般保険 general insurance 会社であり、保健 health、投資 investment、保障 protection

ⁱ approved private medical insurance under the Private Medical Insurance Scheme (PMIS)

ⁱⁱ 2000 年 12 月末日現在。Ministry of Health *Annual Report 2001* p24

ⁱⁱⁱ <http://www.income.com.sg/corporate/>

^{iv} Low Chan Kee ed. *Actuarial and Insurance Practices in Singapore* Addison Wesley 1996 p298

の3分野の商品を販売している。保健分野では、医療 medical、長期療養 long term care、重篤な疾患 critical illness に関する商品を販売している。医療保険は団体向け商品や女性向け商品と並んで、入院保険である AIA Healthshield を 2000 年 8 月から販売している。

AIA Healthshield はメディシールドおよび NTUC Incomeshield と比較して保険料も高く、保険金も高い設定となっている。

③ Great Eastern Supreme Health

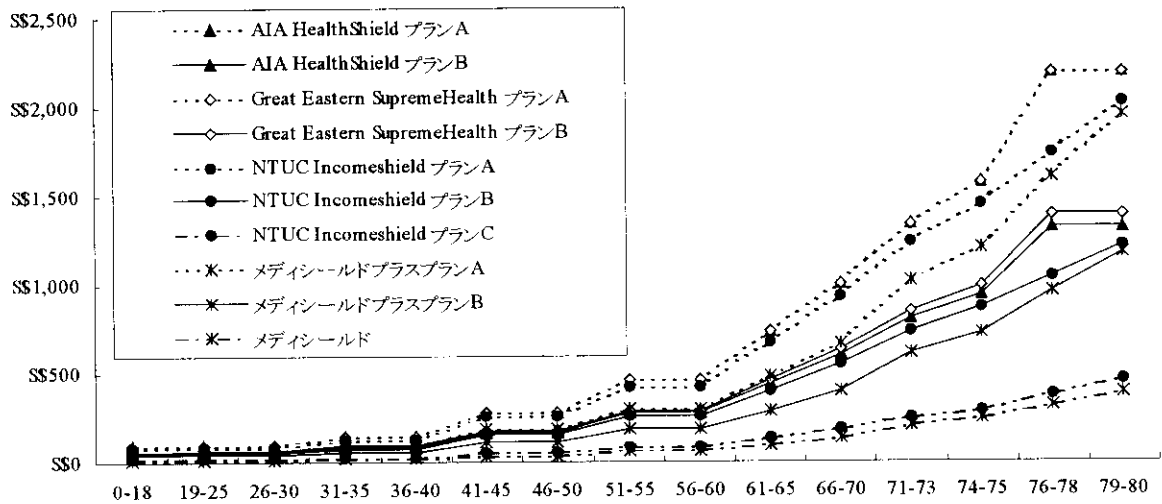
2002 年 1 月 3 日に The Great Eastern Life Assurance Co Ltd でも同様の医療保険である SupremeHealth の販売を開始した。Great Eastern はシンガポールとマレーシアにおいて最も大きい資産ベース asset-based の生命保険会社であり、総資産は 238 億シンガポールドルにのぼる。

Supreme Health は AIA HealthShield と保険料・給付水準が似ているが、それまでのメディシールド・NTUC・AIA の商品と比較して年齢階層を細分化しているため若年層にとって保険料が比較的安く抑えられている。

《保険料》

図表57 メディシールド類似商品の保険料

次の誕生日の年齢	AIA Health Shield プランA	AIA Health Shield プランB	Great Eastern Supreme Health プランA	Great Eastern Supreme Health プランB	NTUC Income shield プランA	NTUC Income shield プランB	NTUC Income shield プランC	メディシールド プラス プランA	メディシールド プラス プランB	メディシールド
0-18	S\$92	S\$55	S\$83	S\$52	S\$84	S\$50	S\$17	S\$60	S\$36	S\$12
19-25	S\$92	S\$55	S\$92	S\$58	S\$84	S\$50	S\$17	S\$60	S\$36	S\$12
26-30	S\$92	S\$55	S\$92	S\$58	S\$84	S\$50	S\$17	S\$60	S\$36	S\$12
31-35	S\$138	S\$83	S\$138	S\$88	S\$126	S\$76	S\$25	S\$90	S\$54	S\$18
36-40	S\$138	S\$83	S\$138	S\$88	S\$126	S\$76	S\$25	S\$90	S\$54	S\$18
41-45	S\$275	S\$165	S\$275	S\$174	S\$252	S\$151	S\$50	S\$180	S\$108	S\$34
46-50	S\$275	S\$165	S\$275	S\$174	S\$252	S\$151	S\$50	S\$180	S\$108	S\$34
51-55	S\$457	S\$274	S\$457	S\$289	S\$420	S\$252	S\$84	S\$300	S\$180	S\$60
56-60	S\$457	S\$274	S\$457	S\$289	S\$420	S\$252	S\$84	S\$300	S\$180	S\$60
61-65	S\$731	S\$439	S\$731	S\$463	S\$672	S\$403	S\$134	S\$480	S\$288	S\$96
66-70	S\$1,004	S\$602	S\$1,004	S\$635	S\$924	S\$554	S\$185	S\$660	S\$396	S\$132
71-73	S\$1,338	S\$803	S\$1,338	S\$847	S\$1,232	S\$739	S\$247	S\$1,020	S\$612	S\$204
74-75	S\$1,571	S\$942	S\$1,571	S\$994	S\$1,449	S\$869	S\$290	S\$1,200	S\$720	S\$240
76-78	S\$2,184	S\$1,319	S\$2,184	S\$1,392	S\$1,733	S\$1,044	S\$374	S\$1,600	S\$960	S\$320
79-80	S\$2,184	S\$1,319	S\$2,184	S\$1,392	S\$2,016	S\$1,218	S\$457	S\$1,950	S\$1,170	S\$390



《保険給付内容》

	AIA Health Shield プランA	AIA Health Shield プランB	Great Eastern Supreme Health プランA	Great Eastern Supreme Health プランB	NTUC Income shield プランA	NTUC Income shield プランB	NTUC Income shield プランC	メディシールドプラスプランA	メディシールドプラスプランB	メディシールド
病室と食費 /日	S\$500	S\$300	S\$625	S\$375	S\$625	S\$375	S\$150	S\$500	S\$300	S\$120
ICU /日	S\$800	S\$500	S\$1,000	S\$625	S\$1,000	S\$625	S\$300	S\$800	S\$500	S\$240
外科手術	S\$480- S\$7,200	S\$390- S\$6,500	S\$480- S\$7,200	S\$360- S\$6,500	S\$480- S\$7,200	S\$360- S\$6,400	S\$120- S\$900	S\$400- S\$5,500	S\$300- S\$4,500	S\$100- S\$600
移植等 /年	S\$3,500	S\$2,500	S\$3,500	S\$2,500	S\$3,500	S\$2,500	S\$1,500	S\$3,500	S\$2,500	S\$1,500
がん放射線治療 /日	S\$200	S\$160	S\$280	S\$240	S\$280	S\$240	S\$160	S\$100	S\$80	S\$40
がん化学療法	S\$1,000/月	S\$800/月	S\$1,100/月	S\$880/月	S\$1,000/月	S\$800/月	S\$700/月	S\$200/週	S\$150/週	S\$75/週
腎臓透析	S\$2,000 /月	S\$1,600 /月	S\$30,000 /年	S\$24,000 /年	S\$2500 /月	S\$600 /月	S\$300 /月	S\$2000/月	S\$1600/月	S\$700 /月
エリスロポエティン薬 /月	S\$500	S\$400	S\$6,000	S\$5,000	S\$500	S\$400	S\$200	S\$500	S\$400	S\$200
シクロスポリン薬 /月	S\$500	S\$400	S\$6,000	S\$5,000	S\$500	S\$400	S\$200	S\$500	S\$400	S\$200
年間請求上限	S\$90,000	S\$6,500	S\$100,000	S\$75,000	S\$100,000	S\$75,000	S\$3,000	S\$70,000	S\$50,000	S\$20,000
生涯請求上限	S\$270,000	S\$195,000	S\$480,000	S\$350,000	S\$300,000	S\$225,000	S\$120,000	S\$200,000	S\$150,000	S\$80,000
年間定額控除	S\$2,500	S\$1,500	S\$2,500	S\$1,500	S\$2,500	S\$1,500	S\$350(C) S\$750(B2)	S\$4,000	S\$2,500	S\$1,000 (B2) S\$500(C)
自己負担	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	20%	20%	20%

上記以外に細かい項目があるものもあり(ガンマナイフなど)

7) メディシールドの財政安定化のための取り組み

メディシールドの給付は定額控除 deductibleⁱと共同負担 coinsuranceⁱⁱを原則としている。これは全額前払いの保険制度が利用者の過剰利用を促すことへの対抗策である。また年間給付総額や生涯給付総額などの上限も設定されている。deductible と coinsurance はメディセイブ口座から引き出して支払うことができる。年間利用総額は公立病院の 6 ベッド病室での平均的な医療費をもとに算出されている。

メディシールドは deductible を払い終えた時点から支払われ、現在の deductible は 7 ベッド以上の病室では年間 S\$500、その他の病床では S\$1,000 である。

メディシールドは重病の患者の医療費をカバーするためにつくられた制度であるため、deductible は高めに設定されている。また deductible を高めに設定することによって、過剰な受診を控えさせ、保険料を低く抑えることができる。ただし、外来の化学療法、放射線療法、人工透析、Cyclosporin、Prograf、Erythropoietin に deductible はない。

Coinsurance については、メディシールドから 80%が支払われ、患者が残り 20%を負担する。

年間利用総額上限は S\$20,000(S\$1=70 円換算で約 140 万円)、生涯上限額は S\$80,000(同約 560 万円)である。

図表58 定額控除と共同負担

	メディシールド	メディシールドプラス	
		プラン B	プラン A
定額負担(控除)(年度あたり) Deductible *(per policy year)	S\$1,000 (B2 病床以上) S\$500 (C 病床)	S\$2,500	S\$4,000
共同負担(定率) Co-insurance	20%	20%	20%

* 外来治療およびがんの定位放射線療法の場合は定額控除の支払いは不要で、その場合は支払い上限以内にとどまる限り、メディシールドまたはメディシールドプラスが実費の 80%を支払う。
If your claim is for outpatient treatment and Stereotactic Radiotherapy treatment for cancer, you need not pay any deductible amount. MediShield/MediShield Plus will pay 80% of the actual charge for that item of medical treatment up to the assured amount.

ⁱ deductible 医療保険の給付開始前の定額控除額。医療保険が医療費を償還開始する前に患者個人が負担しなくてはならない一定金額の医療費部分。coinsurance とともに major medical insurance に採用されている制度で、corridor d./flat d./integrated d. の 3 種類があるが一般には flat d. である。

ⁱⁱ coinsurance 共同負担。高額医療費保険 major medical insurance において deductible とともに医療費の一部を加入者(被保険者)と会社(保険者)によって一定の割合で負担させる方式をいう。保険制度が支払う部分に対して被保険者が支払う割合は%で表示される。償還予定医療費 covered expense から deductible を差し引いた残額の大半を会社(保険)が支払い、残りを加入者が負担するという共同負担率 percentage participation をいう。通常は会社(保険)が 75~80%、加入者が 25~20%である。加入者自己負担最高限度額 OOP maximum を超過する部分についてはその全額が保険から償還される。

4. 民間医療保険

(1) 市場の概要

医療保険は生命保険会社の事業の中で比較的小さい部分を構成している。1991 年末の時点で生命保険の保険料総額(年金 annuity を除く)の 13 億 2380 万シンガポールドルうち、事故・医療保険の保険料はその 2.8%の 3750 万シンガポールドルにとどまる。以降も医療費の増加に伴い、保険会社は保険料の見直しをせざるを得ず、加入者にとっても魅力ある商品ではなくなってきたⁱ。

シンガポールには生命保険 life insurance の営業免許と損害保険 general insurance の免許があるが、いずれの保険会社でも医療保険を取り扱うことができる。ただし、2001 年 12 月 22 日付けの金融庁の通達 (No. FSG 71/2001)の第 2 項により、「医療費保険、障害者保険、長期療養保険、重篤疾病保険を含む何らかの健康保険を販売しているすべての生命保険・損害保険会社の従業員はそれらを販売または紹介する際に必要な健康保険分野の資格を必要とするⁱⁱ」とされている。これは新規事業者については 2002 年 3 月 1 日から、既存事業者については 2002 年 7 月 1 日から適用される。

ⁱ Low Chan Kee ed. *Actuarial and Insurance Practices in Singapore* Addison Wesley 1996 p2

ⁱⁱ Circular No. FSG 71/2001 (This circular replaces Cir No. FSG 28/2001 dated 18 May 01.) Date: 22 Dec 2001
Monetary Authority of Singapore, Insurance Department, Financial Supervision Group
Training and Competency Requirement: Health Insurance Module

Circular No. FSG 71/2001 (This circular replaces Cir No. FSG 28/2001 dated 18 May 01.)

Date: 22 Dec 2001

To: All Principal Officers and Chief Executive Officers
All Direct Insurers, Direct General Insurance Brokers and Direct Life Insurance Brokers

Dear Sir/Madam

TRAINING AND COMPETENCY REQUIREMENT: HEALTH INSURANCE MODULE

- 1 To ensure that policyholders are sold the appropriate insurance products according to their needs, the Authority has always considered the training and competency requirements of intermediaries and practitioners an important focus of attention.
- 2 A new requirement will be the introduction of a health insurance module. All life and general insurance intermediaries and company staff who are involved in providing sales advice in any health insurance products including medical expense, disability income, long term care insurance and critical illness must have satisfied the qualification requirement in health insurance before they can provide advice or sell such products.
- 3 With effect from 1 Mar 2002, all new life and general insurance intermediaries and company staff must pass the health insurance module before they can be involved in or sell any health insurance products.
- 4 All existing life and general intermediaries and company staff who advise or sell any of the above health insurance products, must pass the health insurance module by 1 Jul 2002.
However, for those existing life and general intermediaries and company staff who sell critical illness products only, they are allowed to complete a non-examinable course on critical illness insurance conducted by SCI or an approved in-house course covering SCI's syllabus on critical illness insurance by 1 Jul 2002 in lieu of a pass in the health insurance module. This special provision applies only to critical illness products and not other health insurance products.
- 5 Insurers are not allowed to accept any business from any intermediaries who have not obtained the required qualification. Additionally, insurers have to ensure company staff who are involved in providing sales advice in any health insurance products have obtained the required qualification.
- 6 The Singapore College of Insurance (SCI) is finalising the details of the new syllabi. Please contact SCI for any administration matters on the above module, examination or course.

Yours faithfully (Sent thru' MASNET and email)

Mrs Hauw Soo Hoon Executive Director Insurance Department Financial Supervision Group

(2) 商品の内容、カバー範囲

① 生命保険会社で販売している医療・健康保険

シンガポール生命保険協会(Life Insurance Association of Singapore, LIA)には 12 の生命保険会社が一般会員として登録している。

この中で、ウェブサイトの商品情報を入手できた会社、現地ヒアリング調査の際に訪問して資料入手した企業など 6 社の商品を、図表 61 (p74・75) で紹介する。なお、生命保険と損害保険で別会社となっており、生命保険ではなく損害保険の会社の方で扱っている会社もある。AXA、Asia Insurance などがその例である。

図表59 主な生命保険会社と商品

American Int'l Assurance Co Ltd	Keppel Insurance Pte Ltd
Asia Life Assurance Society Ltd	NTUC Income Insurance Co-op Ltd
AXA Life Insurance Singapore Pte Ltd	Overseas Assurance Corporation Ltd
Great Eastern Life Assurance Co Ltd	OUB Manulife Pte Ltd
Insurance Corporation of Singapore Ltd	Prudential Assurance Co S'pore (Pte) Ltd
John Hancock Life Assurance Co Ltd	UOB Life Assurance Ltd

(資料) <http://www.lia.com.sg/companies.asp>

《参考: マネジドケア商品 1 NTUC Income によるマネジドケアシステム》

<プライマリケア>

NTUC Income が提示する診療所の中から、希望するプライマリケア診療所(primary care clinic, APCC)および代替選択肢のプライマリケア診療所(alternative primary care clinic, APCC)を選択する。プライマリケア診療所への受診は無制限、代替選択肢のプライマリケア診療所への受診は年 3 回を上限とする。費用は償還払いで、受診 1 回あたり S\$5 の自己負担とする。診療所への予約不要という特典がある。PCC と APCC は変えることもできる。

<専門医外来診療>

公立病院またはマネジドケアシステムが提示する専門医の中で自由に受診することができる。ただしプライマリケア診療所からの紹介(または緊急時は代替選択肢プライマリケア診療所からの紹介も可)を必要とする。自己負担は S\$15 の病院が多いが、病院によって自己負担のみ支払うものと償還払いのものがある。

<入院医療>

マネジドケアシステムが指定する 6 つの病院に入院した場合は、自己負担 10%のみの支払いであり、入院の際に病院は NTUC Income に照会するため入院の際の保証金 deposit は不要である。なお、民間病院に入院した場合は全額自己負担した後の償還払いになり、マネジドケアシステムが全体をカバーしきれないとは限らない。

《参考: マネジドケア商品 2 Allianz Parkway によるマネジドケアシステム》

Allianz Parkway Integrated Care Pte Ltd.では Parkway 病院グループと提携してマネジドケアプランと医療サービスを提供している。Allianz Parkway は保険会社がサービス提供もしている唯一の会社である。類似事例として Raffles Hospital では病院が保険を販売している。

<提携医療機関>

Parkway グループが経営する Mt. Elizabeth 病院、Green Eagles 病院、Eastshore 病院の 3 病院と契約を結んでいる。Mt. Elizabeth と Green Eagles はもともとプレステージの高い民間病院で、Allianz 加入者、自費で医療費を支払う高額所得者、またインドネシアやマレーシアの高所得者が利用している。これらの病院と団体割引で低価格契約を結んでいる。

また、診療所などの一般医、専門医、ネットワークの病院などと価格交渉をしている。

<入院手続>

一般医が Allianz の加入者に入院を勧める場合は、Allianz の専門医ネットワークに問い合わせることを義務付けている。その時に、Allianz が契約している病院に紹介するような流れを作っている。契約病院に入院する割合が高ければ、病院との価格交渉の際に団体割引を狙うことができる。

また、手術前などに事前承認は不要だが、支払いの際にチェックしており、過剰医療がないことを確認している。過剰なサービスを提供する医師ないし医師のグループがいる場合は、Allianz Parkway のグループに所属し続けたいのであれば適切なサービスを提供してほしいとの要望を出す。

<薬剤処方>

一般医は過剰に薬剤を処方する傾向があるため、Allianz で償還する薬剤のリスト drug formularies がある。

② 損害保険会社で販売している医療・健康保険

損害保険会社でも多数の医療保険を販売している。損害保険協会 General Insurance Association の分類によると、入院・手術費保険 Hospital And Surgical Expenses Insurance は、契約期間中に罹患したり発生したりした事故、病気、疾病によって生じた病院(入院)費用・手術費用・救急外来費用をカバーしている¹。

損害保険協会には 35 の保険会社が会員となっている。この中には、シンガポール国内であり事業展開していない会社も含まれる。シンガポールで事業を行っている会社でも、医療関連以外の損害保険や投資・金融商品を取り扱う会社が多く、医療保険(団体・個人)を販売する会社は少ない。

この中で、ウェブサイトの商品情報を入手できた会社、現地ヒアリング調査の際に訪問して資料入手した企業など 6 社の商品を、図表 61 (p76~79) で紹介する。なお、生命保険・一般保険とも同一または関連会社で共通のウェブサイトの情報発信している場合は図表 60 で紹介済みのため割愛する。

¹ Hospital And Surgical Expenses Insurance

Covers hospital expenses, surgical expenses and emergency accident outpatient expenses incurred as a result of accident, sickness or disease commencing or occurring during the period of insurance.

図表60 生命保険会社の医療関連商品

会社名	商品名	団体・個人	商品の種類数	保険料	年齢層	最終加入年齢
AIA	AIA Woman Of Wisdom	個人	給付内容に応じて1~4の4パターン	S\$353.81(Plan1、16-25歳)~ S\$3391.79(Plan4、56-59歳)	16~59歳	59歳
	AIA Pink Of Health	個人	給付内容に応じて1、2の2パターン	S\$141.63(Plan1)~ S\$261.36(Plan2)		
	AIA Bundle Of Joy	個人		1日当り€14	生後1ヶ月~15歳まで	15歳
	AIA Healthshield	個人	給付内容に応じてA、B、A+、B+の4パターン	S\$55(PlanB)~ S\$2730(PlanA+)	30歳以下~80歳まで	75歳
	AIA Group Medical Plans	個人				
Great Eastern Life Assurance	SupremeHealth	個人	給付内容に応じたA、Bの2パターン	S\$52(PlanA、0-18歳)~ S\$2184(PlanB、76-80)	生後15日から65歳まで	80歳
Insurance Corporation of Singapore	ICS Medicare	個人				
John Hancock	Catastrophic Medical Plan	個人	S\$60000~S\$300000の五段階の給付内容			
NTUC Income	Long Term Care Co-Pay Assist	個人	病床の種類によりA、B1、B2、Cの4種類	S\$3(本人、C病床、30歳未満)~S\$324(被扶養者、A病床、65~69歳)	69歳まで	
NTUC Income	Family Plus Policy	個人	H&S(入院と手術)、Living(30の疾患)、Term(死亡・障害)、個人事故の4種	H&S\$3(0-19歳)~ S\$10(65-70歳)、Living: S\$1.13~S\$85.76、Term: S\$1.11~S\$45.10、個人事故: S\$2.50(職位1)~ S\$5.50(職位4)	0~70歳	
	Incomeshield Plans	個人	病床の種類によりプランA~Cの3種類	S\$17(プランC、30歳以下)~ S\$2,016(プランA、79-80歳)	0~80歳	
	Managed Healthcare System	個人	病床の種類によりプランA、B1、B2の3種類	A:S\$220-650 B1:S\$190-550 B2:S\$150-330		
Prudential	Hospital Cash	個人				

商品名(再掲)	入院室料・食費	ICU	手術	年間請求上限額	特徴その他
AIA Woman Of Wisdom	実費	実費	実費	S\$25000(Plan1)～ S\$100000(Plan4)	女性のみ対象。女性がわかりやすい病 気や出産費用に対応。出産給付金の 支給、2年に1度、無料健康診断サー ビス
AIA Pink Of Health	S\$1500～S\$2500	S\$150(Plan1)、 S\$300(Plan2)	S\$2500以内	161600	入院時に給付される保険。 AIA HealthShield保険契約者は割引
AIA Bundle Of Joy	250	実費			子供用医療・健康保険。病気、怪我に よる後遺症にも保険がおりる。学校に 行けない場合、最高13週まで、週 S\$500支給。
AIA Healthshield		S\$500(PlanB)～ S\$1000(PlanA+)	S\$7200まで	430000	癌の治療には別途費用が保証される。
AIA Group Medical Plans					歯の治療にも適用される
SupremeHealth		PlanA, S\$1000 PlanB, S\$625	S\$390～ S\$7200の7段 階	S\$75000(PlanB)、 S\$100000(PlanA)	他に外科移植手術や透析治療放射線 治療など様々な治療法にも支給
ICS Medicare					通算限度額を超えても補助あり
Catastrophic Medical Plan					
Long Term Care					介護保険。介護機器も対象
Co-Pay Assist					公務員の包括的共同負担 Comprehensive Co-payment Scheme (CCS) 加入者を対象とし、本人の自己 負担15%、被扶養者の自己負担40%の 半分を給付する
Family Plus Policy	S\$40(加入一口あ たり、10口まで加 入可)		1日の入院室 料食費の30倍 相当額まで	1日の入院室料食 費の1000倍相当 額まで	
Incomeshield Plans	S\$150(プランC)～ S\$625(プランA)	S\$300(プランC) ～S\$1000(プラン A)	上限 S\$120-900(プ ランC)～上限 S\$480-7200(プ ランA)	S\$30,000(プランC) ～S\$100,000(プ ランA)	公的保険メディシールド、AIA HealthShieldが類似競合商品
Managed Healthcare System	上限S\$150(B2)～ S\$500(A)自己負 担15%	上限S\$300(B2) ～S\$1,000(A)自 己負担15%	自己負担15%	S\$20,000(B2)～ S\$80,000(A)	包括的な高質のヘルスケア、ケアの継 続性、健康維持を理念とする
Hospital Cash	S\$250以内				同社の教育預金口座を持っている加 入者がオプションとして追加する。子供 が入院したとき支給される

(資料)各社ウェブサイト、往訪して入手したパンフレットなどをもとに作成

※ 給付は外来の診察(がんの放射線治療、人工透析)のほか、入院の中でも移植手術だけ別項目にする商品なども多
く見られたが、詳細が多岐にわたり比較が困難なため、比較的共通して提示できる入院費・食費、ICU、入院手術の
みを取り上げた。上記の給付項目がその商品のすべてのカバー内容を示すものではない。

図表61 損害保険会社の医療関連商品

会社名	商品名	団体・個人別		商品の種類数	保険料	年齢層	最終加入年齢
ACE	Golden Travel Plan AccidentGuard Plan Kids' CoverCare Plan PrimeShield Plan DisabilityShield Plan	個人					
Allianz	Allianz Healthcare	団体	10人未満、 10人以上の 2パターン	給付内容に 応じてA～Gの7 パターン	S\$148 (10人以上、 プランA、0-18歳)～ S\$1,441 (10人未満、 プランG、61-65歳)	0～65歳	55歳
	Allianz HealthcarePlus	団体	10人未満、 10人以上の 2パターン	給付内容に 応じてA～Eの5 パターン	S\$263 (10人以上、 プランA、0-18歳)～ S\$5,216 (10人未満、 プランE、61-65歳)	0～65歳	60歳
	Allianz Executive Healthcare	個人		給付内容に 応じて1～4の4 パターン (2,4は世界中 1,3は日米加 以外)	S\$435(日米加以外、 プラン1、0-18歳)～ S\$2,442(世界中、プ ラン4、61-65歳)	0～65歳	
	Allianz Family Healthcare	個人		給付内容に 応じてA～Gの7 パターン	S\$181(プランA、 5-18歳、女性)～ S\$3,382(プランG、 71-75歳、男性)	0～75歳	60歳
Asia Insurance	AsiaCare Mini Group Plan (for Company)	団体	4-9人、 10-20人、 21-50人の3 種類	給付内容に 応じてA～Cの3 パターン	S\$99.40 (21-50人、 プランA)～ S\$352.05(4-9人、プ ランC) この保険料は40歳 以下のグループとし て算出した例		
	Individual Hospital & Surgical	個人	類似のプラ ンで団体向 けのGroup Hospital & Surgicalあり	給付内容に 応じてA～Eの3 パターン	S\$141 (プランE、子 ども)～S\$3,403(プ ランA、66-69歳、男性)	子ども～69歳	60歳
AXA	Prime Care	個人		給付内容に 応じてプラン1～ プラン3の3パ ターン	S\$47(プラン1、18歳 以下)～S\$1,323(プ ラン3、71-75歳男性)	75歳まで	60歳
	Smart Care Executive	個人		プランA～D、 A～Cについ ては民間・公 的病院別、合 計7種	S\$92 (プランD、0-17 歳男性)～S\$1,555 (プランA民間、60-65 歳男性)	0～65歳	
	Smart Care Optimum	個人		給付内容に 応じてベーシック、ク ラシック、デラック ス、エリート4種	S\$290 (ベーシック、 0-17歳女性)～ S\$1,943 (エリート、 60-65歳男性)	0～65歳	